

令和4年第10回 清瀬市まちづくり委員会議事要旨

【開催日時等】

日時：令和4年10月26日（水）午後6時から8時15分まで

場所：清瀬市役所4階研修室

【出席委員】

菊谷委員長、関根副委員長、朝倉委員、上村委員、有働委員、大森委員、小寺委員、佐々木委員、竹内委員、田鹿委員、花岡委員、早坂委員、望月委員、山村委員、柳瀬委員

事務局：企画部担当部長、シティプロモーション課事業担当課長、市民協働係係長、市民協働係主事

【配布資料】

第10回まちづくり委員会次第

202210-1 まちづくり基本条例に関する運用状況_調査評価 10月19案

202210-2 委員から出た質問に対する回答

再調査【結果】まちづくり基本条例に関する運用状況 調査

再調査【結果】まちづくり基本条例に関する運用状況 調査②

まちづくりフォーラム（案）

提案に対する意見

【議事】

1 開会

2 事務局より

（1）配布資料の確認

（2）第9回まちづくり委員会議事要旨の確認

（3）報告事項

3 前回の振り返り

副委員長より説明

- ・市民提案の審議
- ・条例運用調査結果の説明
- ・WSの振り返り

4 まちづくりフォーラムについて

WSグループ委員から資料について説明

<意見等>

委員 条例運用調査や提案審議についてこの時間で足りるのか。

委員長 発表についてはグループ内で打ち合わせをして事務局に連絡し、WSグループが調整してほしい。

5 条例運用状況の審議

(1) 事務局から今後の流れを説明

(2) 条例運用審議グループ委員から調査結果に対する評価基準と評価について説明

<意見等>

委員 「平成25年度清瀬市まちづくり基本条例の運用状況に関する調査」において市長へ報告した内容が改善されていない。また、市立図書館協議会は他市では公募委員の枠がある。市民が様々な委員会に参加していろいろな提案をしていくことが大事だと思う。

委員長 公募委員がない附属機関については、公募しない理由があるのか事務局が再調査し、次回の委員会で知らせてほしい。その上で、もっと積極的に市民が参加した方がいい等、建設的な意見を出し合えたらいいと思う。

委員 公募委員が少ない機関については、専門的な内容のため公募委員では決めることができない委員会もあると思うが、公募委員の参加を検討する等の努力をしてほしいと思う。

公募委員の割合が低い機関に対しては理由がわからないと意見を出すことも難しいので、その理由を知りたい。

事務局 再調査し、次回の委員会で報告する。

委員 評価については特に意見はないが、まちづくりフォーラムで報告する際、評価した先にどのようなことをしたらいいのかを各項目に付け加えてみたらどうか。

委員 報告書を提出した後どのように市政に活かされていくのか、活かされているのか、私たちは考えなければならないと思う。

委員長 委員のいろいろな意見が出たうえで最終的に事務局と調整し、まちづくり委員会の総評としてふさわしい資料にする。それをホームページに掲載したり、いろいろな資料としたりして活用したい。

6 提案の審議

(1) 事務局から提案者への質問と回答について報告

<意見等>

委員 市民提案募集用紙では、提案した内容が採用されると考えていたため提案者に質問したが、他の提案とまとめて委員会提案として提言にすることがわかっていたら提案者に質問することはなかったと思う。

委員 前の委員会で事務局からあったように「提案書に書かれていることが全て」ということがわかっているならば、提案者に質問することはなかったと思う。来年度に関してはよほどのことがない限り、質問することはないということだと思うがどうだろうか。

委員長 類似している提案をまとめることは過去にもあった。時間的な制限がある中、今年審議できない提案もある。それは来年に審議したいと考えている。まとめ方やヒアリングに関しては意見をいただきたい。

(2) 提案審議グループ委員から審議の経過について報告

<意見等>

委員 以前までの提言の数はどのくらいか。

事務局 初年度は多かったが、直近の10年は多くても2件である。

委員 市民提案No.1・6・7の提案者はまとめて委員会提案として提言に進めることは了解しているのか。

事務局 市民提案のうち共通項がある提案をまとめて委員会提案として提言に進めると委員会として決定したと事務局として理解している。
そのため、提案者には共通項があった提案を取りまとめ、委員会としてこのように提言したという報告をすればよいと考えている。

委員 市長への提言に向けた委員提案の候補となっているが、再度、説明したいと考えているため今回は取り下げたい。

委員 了承（全員）

委員 事務局から報告された提案者への質問に対する回答にあったように、提案された内容についてディスカッションする場がない。
委員としての提案書を出したが、自分と同じ考えや興味を持てる提案を集めるという話があってもその内容に触れていない。
限られた時間の中で、良くしたいという思いがあって作るのがこの会議だと考えていたが議論の場がない。

委員長 2時間しかない中でどのようにディスカッションするか、時間のつくり方もアイデアを出してほしい。

委員 提案審議グループで今回の内容を決めるのはメールのやり取りで行った。これはメールで決めるものではないと思っていた。今年取り上げるものは何か、残りの提案や課題についてはまた一つずつ審議していく等の確認がほしいと思う。

委員 WSグループでは市民提案の発表をできるかどうかの意見交換をしていた。市民提案を提言として発表することは難しいのではないかという意見が多く出ていたため、市民の意見をきく場や委員同士の意見交換、ディスカッションを中心としたフォーラムにしたかどうかという方向になっていた。フォーラムの中で市長への提言を発表することになり、期限までに終わらせなければならないとなっている。終わらせることが委員会の中心になっているが、そもそもまちづくり委員会でおこなうことは期限内に市長への提言を出すことなのか。
今までも様々な意見が出ているが、どのような経緯で発表することになったのか確認したい。

委員 運営委員会の中で、まちづくりフォーラムにおいて報告する市長への提言候補を出してほしいという話があったため、提案審議グループで検討した。

今年1案でも委員提案を出せばよいと思っている。

委員 まちづくり委員会を発足したのであれば、委員会でどのような事をしたのか市民に説明する責任はあると思う。まちづくりフォーラムを開催すると決めたので、何かかたちのあるものを作らなければならないと考えている。提言までは進めていないが市民提案から一つ、委員提案から一つ発表するというのもいいのではないか。

委員 市民提案については、ある個人の提案というわけではなく、他の提案の共通点をピックアップし委員会としての提案として出すことになった。

委員 11月には提言書にまとめてその内容を審議しなければならない。令和5年に持ち越してもいいのであれば慌てることはないのではないか。

委員提案の中で提言候補となっている提案について、本日提案者の委員が出席しているので、この提案を審議するのはどうか。

委員長 委員提案の審議を行うということによいか。

委員 了承（全員）

委員長 提言書には「現状と課題」「提案内容」「見込まれる成果」を記載する予定だが、まず「現状と課題」について意見を出してほしい。

委員 「平和の日の制定」は提言にしたいと考えている。全国の状況を調べると14自治体が制定し、日付についてはそれぞれ理由がある。

東京都は小金井市、武蔵野市、西東京市、国立市が制定している。清瀬市も制定した方がいいと思う。

清瀬市だからこその内容を盛り込んだ平和の日にすれば制定する意味があると考え。また、制定することで平和に関するイベントやまちづくりを進められると考え。資料等をつけて丁寧に提言へ進めていけばいいと思う。

委員 キーワードは子どもと若者だと思う。戦争を伝える、平和を考えるイベントはどのように行うか、どうすれば参加するかを具体的に考えてみたい。

クレアギャラリーで戦争に関する展示をしているが開いているスペースがある。図書館とタイアップして戦争に関する本を展示紹介する、本の読み聞かせを行うと子どもや若者と一緒に考えられるのではないか。

委員 この提案書に加えるとしたら、学校の中の平和教育の記載が必要だと思う。イベントに集まってきた子どもたちだけではなく、学校の中で考える事業を行うといいと思う。

委員 私が所属している団体に戦争体験をされた方がいる。戦争体験をされた方の意見をきくことは難しいことではないと考える。

戦争体験をきく場をつくる入口の部分を検討したらどうか。東京都では戦争体験者等の声の資料を募っている。そういうものを募り、平和とは何か考える入口として広げたらどうか。

委員 平和の日1日だけではなく平和ウィーク等を設け、その間に平和募金や講演会を行い、来場者が集まって全体で盛り上げられるイベントにつなげられたらいいのではないか。皆で知恵を出せば仕掛けはいくらでも作れると考える。

委員 若い人は平和フェスタ自体を知らない人が多いと思う。平和の日をつくるこ

とでPR性が大きくなると考える。

例えば、教育委員会に依頼して、平和の日の週や近い日に総合学習の時間を使って平和について勉強する時間を作ってもらうのはどうか。

委員 清瀬市には平和祈念展等実行委員会があり活動している。平和の日を制定すれば音頭をとって進められると考える。

委員長 制定するとなるといろいろな段取りを踏まなければならないが、各部署や教育委員会に繋がるのが考えられる。

この提案を市長への提言として進めるということによいか。

委員 賛成(全員)

委員長 過去の提言書を見ると非常にたくさんの意見が書かれている。事務局が11月の委員会に提言書案を作成すると思うが、この場で発言できなかった方はメールで事務局に送っていただく。11月に提言書の内容を全員で審議すればいいと思う。

委員 平和の日を制定することが大事だと考える。その日が制定され、そこで何をやるか募集することもいいと思う。

委員 今回は審議が足りなかったと思う。翌年に関してはもっと話しあえるといい。

委員長 委員提案について提言にする提案は決まった。市民提案をまとめた委員会提案についてはどうか。提言として発表するか来年度にするか意見をききたい。

委員 まちづくりフォーラムを開催し公表するのであれば、一つでも提言を出した方がよいと考える。

委員 まちづくりフォーラムに市民の方もいて、委員の皆さんもいるのであれば、発表する提案を平和の日の制定の一つにすると時間的に余裕ができる。時間の調整をして参加者の皆さんから平和の日について意見を伺い、内容についてアイデアを出す場がもてないか。

委員 平和の日の制定について提言として発表し、意見交換の時間を設ける。ワークショップでも平和の日の内容を盛り込んだ時間が取れるとよいということによいか。

委員 まちづくりフォーラムに来ていただく方の中には、提案者の方もいると思われる。まちづくり委員会がどのようなことをしているか、自分の提案はどのようになっているか思っている方がいると考えられる。まちづくり委員会の説明があるといいのではないか。

委員長 提案について審議中である等の説明の場を設ける。また、提案者に対し、フォーラム開催前にもう一度手紙を出そうと考えている。

委員 現在届いている提案を会場に掲示するのはどうか。

委員長 スクリーンに映そうと考えている。

委員 提案の審議が遅くなってしまった理由はある。

委員長 3年ぶりのまちづくり委員会ということもあり、状況が変わっていることもある。意見を出したいと考えていることを含めコメントしたい。そのため市民提案については来年以降に審議するとして、平和の日の制定についての提案を提言としてフォーラムで報告する方向で進めていくということによいか。

- 事務局 まちづくりフォーラムは提案1件を市長への提言として発表する。また、条例運用の審議結果を報告するということがよいか。
- 発表時間によってタイムスケジュールが変わるため、各グループの発表時間を事務局に報告してほしい。併せて発表者をお知らせいただきたい。
- フォーラムの周知方法については、事務局でチラシを作成し、委員にメールで送付するので意見をいただきたい。
- 提言書案については、盛り込んでほしい意見等があったら事務局まで提出してほしい。
- 次回の委員会を承認の場としたいため、意見等は11月4日までとしたい。
- 委員長 WSグループから、資料はパワーポイントで作成するという話があった。写真等、伝わりやすい情報があったら事務局に送付してほしい。
- 委員 提言が一つになったことで時間配分が変わるが、提言の発表の中でワークショップを行うのか。
- 委員 ワークショップを行うかどうか、進行の仕方を含めもう一度WSグループで調整した方がよいと思う。
- 委員 フォーラムに来る方は、提言に関心があるだけでなく、条例運用の発表やまちづくり委員会の在り方についても意見を言いたい方もいると考えられる。ワークショップではなく、参加者が意見を伝えられる時間をとるのもよいと思う。

7 12月の委員会について

事務局より、12月の開催について確認し開催しないことに決定。必要であれば書面開催とする。

8 閉会